

東京社保協ニュース

東京社会保障推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

巣鴨地蔵通り入口定例宣伝・署名行動



新春宣伝に191筆の署名が寄せられる

1月14日、巣鴨地蔵通り商店街入口において沢山の参拝客で賑わう中、11時から13時までの2時間、今年初めての「4の日」新春署名・宣伝行動を行いました。

この行動は、東京社保協と中央社保協が共同で実施し、憲法東京共同センターやいのちの砦アクションからも参加し、東京社保協26人（内東京土建18人）、中央社保協などから10人の合計36人が

参加しました。

当日は、参加団体が次々とリレートークを行いながら、「25条新署名」や「3000万署名」、「生活保護制度の充実を求める署名」などについて訴えを行いました。

各弁士の訴えに

署名が191筆（社会保障拡充50、25条東京版62、9条署名47、生活保護28、介護4）寄せられ、署名ハガキ入りティッシュを約11,500個配布しました。また、同時に実施した看護師さんによる「医療・介護なんでも相談」には6人が立ち寄り、血圧測定を行いながら相談を受けました。

次回の宣伝行動は2月14日（水）の12時～13時の1時間、巣鴨駅前で行われる予定です。



税・国保滞納・差押えホットライン



1月27日、中央社保協、東京社保協などの共催で「滞納・差押えホットライン」が全国9カ所で行われ、43件の相談が寄せられました。

東京で行われた電話相談は、黒岩・宇都宮弁護士をはじめ、全商連や都生連、東京土建、自治労連などから11人が相談員として参加し、13件の相談が寄せられました。

相談内容は、「国保料を274万円滞納し、役所と相談の上毎月5万円を分割納入していたが、この納付が滞っていたら、滞納整理機構への移管予告が届いた。市役所

に行くとき、親せきや金融機関から借金して全額払えと言われた」

（宮城）「国保・固定資産税の滞納で延滞金含め200万円。分割して2万円を2年間支払っている。市から返還額の増額を求められているが、今の生活状況では増額出来ない。市から給与明細書を出せ、口座を教えろと言われ、生命保険を差し押さえられたら大変だ」（群馬）など、いずれも深刻な相談でした。

自治体の担当者は、「滞納さえ回収できればいい」滞納当事者の生活など顧みない、露骨な滞納・差押えの実態が明らかになりました。



各地域・団体の取り組み

渋谷社保協



生活保護費を削ると生保受給者が怒る！

12月26日、渋谷社保協恒例の「なんでも相談会」を渋谷駅西口モヤイ像前で行い、6団体7人が参加しました。

今回寄せられた相談は4件（法律2、生活相談2）で、相談コーナーでは相談会デビューの水谷陽子弁護士や福井典子渋谷社保協会長などが対応しました。

相談では、夫婦2人で生保を利用している70代の男性が立ち寄り、「来年また保護費が減らされるらしい」「今度減らされたら、今いる新宿では暮らせなくなる」と不安な状況が語られました。政府の更なる生活保護費削減政策の話をするると、「安倍のバカヤロー」と怒り一杯でした。家賃等のことで区とやり取りする時には「力を貸します」と対応しました。その他、遺産相続や介護保険制度などについての相談が寄せられました。

（渋谷社保協ニュースより）



葛飾社保協

国保改善署名を区に提出



格差と貧困の広がりの影響を受けて、国保料を払いたくても払えずに、国保料の滞納が増え続けています。葛飾社保協は、区として新たな国保料減免制度を作り、高すぎる国保料の引き下げを求めて、独自の団体・個人署名に取り組み、62団体、152人の署名を葛飾区に提出しました。

これを受け、葛飾区国保年金課長と国保改善署名への回答と葛飾区の国保の状況報告を受けて、懇談を行いました。

区の回答は、「社保協からの要求内容そのものももっともだと思いますが、現状は23区統一で進めており、区独自にこうした制度を取り入れていくのは困難」という回答でした。引き続き、保険料の引き下げと独自減免制度の実現めざして取り組んでいきます。

新春早々、都営住宅で宣伝行動

1月11日、葛飾社保協は「国の責任で社会保障制度の拡充を求める」新請願署名（25条署名）を推進して行こうと、葛飾区内にある都営住宅を対象に、署名ハガキ付きチラシ約500枚の配布を行いました。

引き続き、都営住宅を中心に今後も宣伝行動を実施していきます。



（葛飾社保協ニュースより）

北区社保協

北区なんでも相談会実行委員会は、12月28日に「事例報告集会」を14人が参加して行いました。

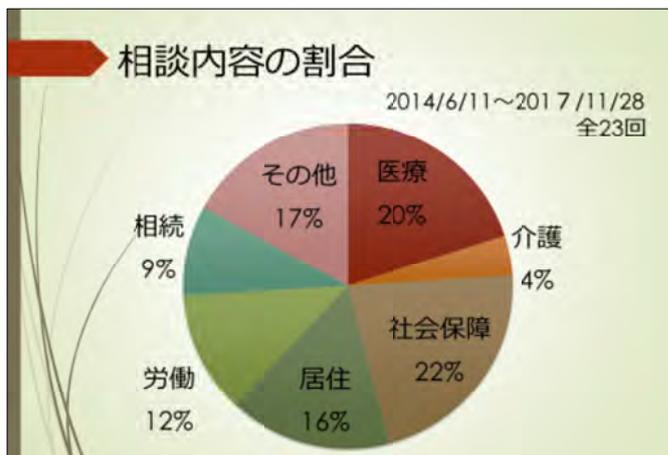


なんでも相談会は、2014年6月から開始し延べ23回の開催になりました。通算来場者221人、相談者197人、相談件数208件、実行委員会からの参加者は延べ495人となりました。

相談会が地域に定着し、相談件数も年々増加傾向にあります。それに伴い、相談者の年齢層も幅広くなっています。

相談内容では、社会保障の相談件数が多く、次いで医療・介護の相談が続き、これらの相談が全体の約半数を占めています。そして、2017年は団地に撒いたチラシを見ての相談が何件もありました。相談会の運営に参加する仲間も増え、広がりが見えた1年となりました。

(なんでも相談会ニュースより)



相談内容別件数

	2014-2015		2015-2016		2016-2017		2017-		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
医療	9	21%	10	21%	14	19%	8	18%	41	20%
介護	2	5%	3	6%	2	3%	1	2%	8	4%
社会保障	15	35%	11	23%	16	22%	4	9%	46	22%
居住	4	9%	11	23%	10	14%	8	18%	33	16%
労働	9	21%	6	13%	3	4%	7	16%	25	12%
相続	0	0%	1	2%	10	14%	7	16%	18	9%
その他	4	9%	5	12%	18	24%	10	21%	37	17%

「4の日」定例宣伝行動

- ・2月14日(水)12時~13時
巢鴨駅前
- ・3月14日(水)12時~13時
巢鴨駅前

主催:東京社保協・中央社保協



「社会保障」誌の購読を

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や社会保障制度がよくわかる!役に立つ!
学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読 (年6回)
3000円 (送料別)
1部500円 (送料別)
- 申込みは東京社保協へ
TEL03-5395-3165
FAX03-3946-6823
*ホームページからも注文できます



第48回東京社保協総会

日時 2018年3月25日(日) 10時~4時半(予定)

会場 けんせつプラザ東京

10時から学習会開催

加盟各団体から2人以上の参加を
総会参加者には弁当を用意します

無料

学習会のみ
参加も歓迎!



講師
本田宏医師

外科医、NPO法人医療
制度研究会副理事長

学習会開催予定 10:00~11:00



第48回東京社保協総会 参加申込書 2018年 月 日

締め切りは3月14日(水)です。この申込書をFAXして下さい

団体名() 担当者()

参加者氏名	学習会のみ 参加は○	参加者氏名	学習会のみ 参加は○

※必要事項を記入してFAXで申し込んでください。
お問合せは、東京社保協事務局まで(Tel.03-5395-3165)

FAX 03-3946-6823